

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和4年8月23日	担当部署	農林水産部 農政課
-------	-----------	------	-----------

※以下は令和4年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	公益財団法人 牧農林業振興公社		
代表者	理事長 中川 耕平		
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤	<input type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市牧区柳島 353 番地		
設立年月日	平成8年3月22日		
基本金	30,000 千円	市出捐割合	83.3%
設立目的	地域社会の振興及び生活環境に関する事業を通じて、農林業生産の維持及び向上を図り、もって牧区における農林生産及び地域社会経済の活性化に寄与する。		
主な事業	(1) 農作業支援事業 (2) 農地保全事業 (3) 農地利用集積円滑化事業 (4) 中山間地域等直接支払交付金業務受託事業 (5) 多面的機能支払交付金業務受託事業 (6) 都市と農村交流事業 (7) 地域保全管理事業		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内 訳		
				プロパー	市兼務	その他
理事	1	4	5	5	0	0
監事	0	2	2	2	0	0
計	1	6	7	7	0	0

4 職員数

(単位：人)

	計	内 訳	
		プロパー	市兼務
正社員	6	6	0
その他	0	0	0
計	6	6	0

5 事業実績（概要）

【令和3年度の経営状況】

一般正味財産と指定正味財産の増減額の合計は、前期比 3,524 千円の減となったが、全体収支では 8,011 千円の黒字であり、正味財産期末残高は 122,025 千円となった。

主な要因として、経常収益では米の販売収入の減少に加え、ライスセンターの施設管理や道路等の除雪作業に係る業務量の減少等に伴い前期比 7,321 千円の減となり、経常費用では受託作業における人件費の減少等に伴い前期比 1,960 千円の減となったことによるもの

【令和3年度の主な取組】

(1) 農作業支援事業

事業名		令和元年度	令和2年度	令和3年度
水稲関係作業	耕耘	3.2ha	0.9ha	0.1ha
	代掻	1.8ha	1.7ha	0.2ha
	田植	8.7ha	7.6ha	1.6ha
	江立（溝切）	29.3ha	16.7ha	15.7ha
	刈取	3.9ha	4.5ha	4.2ha
	延面積	46.9ha	31.4ha	21.8ha
畑作関係作業 （そば・大豆）	耕耘	0.0ha	0.4ha	0.0ha
	播種	0.0ha	0.4ha	0.0ha
	刈取	17.4ha	14.0ha	15.5ha
	延面積	17.4ha	14.8ha	15.5ha

※えちご上越農業協同組合から育苗受託 13,306 枚

(2) 農地保全事業

農地の荒廃化防止のため、引き受け手のない農地を借り受けて耕作を行った。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数	109件	106件	112件
面積 (水稲作付面積)	31.7ha (20.4ha)	31.6ha (20.1ha)	33.6ha (21.2ha)
収穫量 (10a当たりの収量)	75.6t (6.5俵)	82.2t (6.9俵)	87.3t (6.8俵)

(3) 農地利用集積円滑化事業

地域の営農体制の強化を図るため、担い手に農地の集積を支援した。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数	185件	179件	174件
面積	61.3ha	58.8ha	57.4ha

(4) 中山間地域等直接支払交付金業務受託事業

業務受託集落数：23 集落、交付金総額：78,147 千円

(5) 多面的機能支払交付金業務受託事業

業務受託集落数：16 集落、交付金総額：11,922 千円

(6) 都市と農村交流事業（棚田オーナー会員 9名）

(7) 地域保全管理事業

上越市から公共施設の管理（除草）、道路除雪を受託

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目		令和元年度	令和2年度	令和3年度
		自平成31年4月1日 至令和2年3月31日	自令和2年4月1日 至令和3年3月31日	自令和3年4月1日 至令和4年3月31日
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部			
	經常収益	76,819	97,897	90,576
	基本財産運用益	3	2	0
	特定資産運用益	0	0	0
	受取会費	0	0	0
	事業収益	61,114	80,501	73,174
	受取補助金等	12,251	13,802	13,500
	その他經常収益	3,451	3,592	3,901
	經常費用	73,161	84,140	82,180
	事業費	67,416	80,183	78,822
	管理費	5,745	3,958	3,358
	当期經常増減額	3,658	13,756	8,396
	經常外収益	0	0	0
	經常外費用	0	1,837	0
	当期經常外増減額	0	△1,837	0
	税引前当期一般正味財産増減額	3,658	11,920	8,396
	法人税等	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	3,658	11,920	8,396
	一般正味財産期首残高	66,233	69,891	81,810
	一般正味財産期末残高	69,891	81,810	90,206
	指定正味財産増減の部			
	当期指定正味財産増減額	△558	△385	△385
	指定正味財産期首残高	33,146	32,589	32,204
指定正味財産期末残高	32,589	32,204	31,819	
正味財産期末残高	102,479	114,014	122,025	
項 目		令和2年3月31日現在	令和3年3月31日現在	令和4年3月31日現在
貸借対照表	資 産	127,313	143,546	152,600
	負 債	24,834	29,531	30,575
	正味財産	102,479	114,014	122,025
	指定正味財産	32,589	32,204	31,819
	一般正味財産	69,891	81,810	90,206

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額（税込）

（単位：千円）

内訳		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
①	市道除雪業務	11,534	29,677	25,237	
②	水道施設管理業務	370	404	392	
計		11,904	30,081	25,629	

(2) 財政援助額（税込）

（単位：千円）

内訳		令和元年度	令和2年度	令和3年度	備考
①	補助金（助成金）	0	0	0	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他（ ）	0	0	0	
計		0	0	0	

8 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

農家の多くは70歳以上の高齢者で、経営規模が零細である上、生産条件も悪いほ場が多く、担い手不足の深刻化も進んでおり、農村集落の活力低下が大きな課題となっていることから、牧農林業振興公社への期待はますます高まっている。

農業生産活動では、コシヒカリ中心の作付けから業務用米の「つきあかり」等の多収穫米の生産拡大を図り、国の施策に沿った米づくりを進めていく。

平成26年度から実施している多面的機能支払交付金広域協定や中山間地域等直接支払交付金広域協定の事務局を継続し、参画する集落の活動支援を行っていく。

また、引き続きライスセンター等の施設管理や除雪業務等を受託することにより経営資金の安定化を図るとともに、冬期間の生活道路を確保し、安全・安心な生活環境を維持していく。

【主な事業】

- ・ 各種免許取得や研修会等に積極的に参加し、技術の向上や担い手の確保を図っていく。
- ・ 農地の集積などに係る窓口対応や高齢農家、生産組織への支援を図り、耕作放棄地の解消に努めていく。
- ・ 中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金などの制度を活用した農地の維持管理を支援していく。
- ・ 牧区内の公共施設等の維持、保全を図っていく。

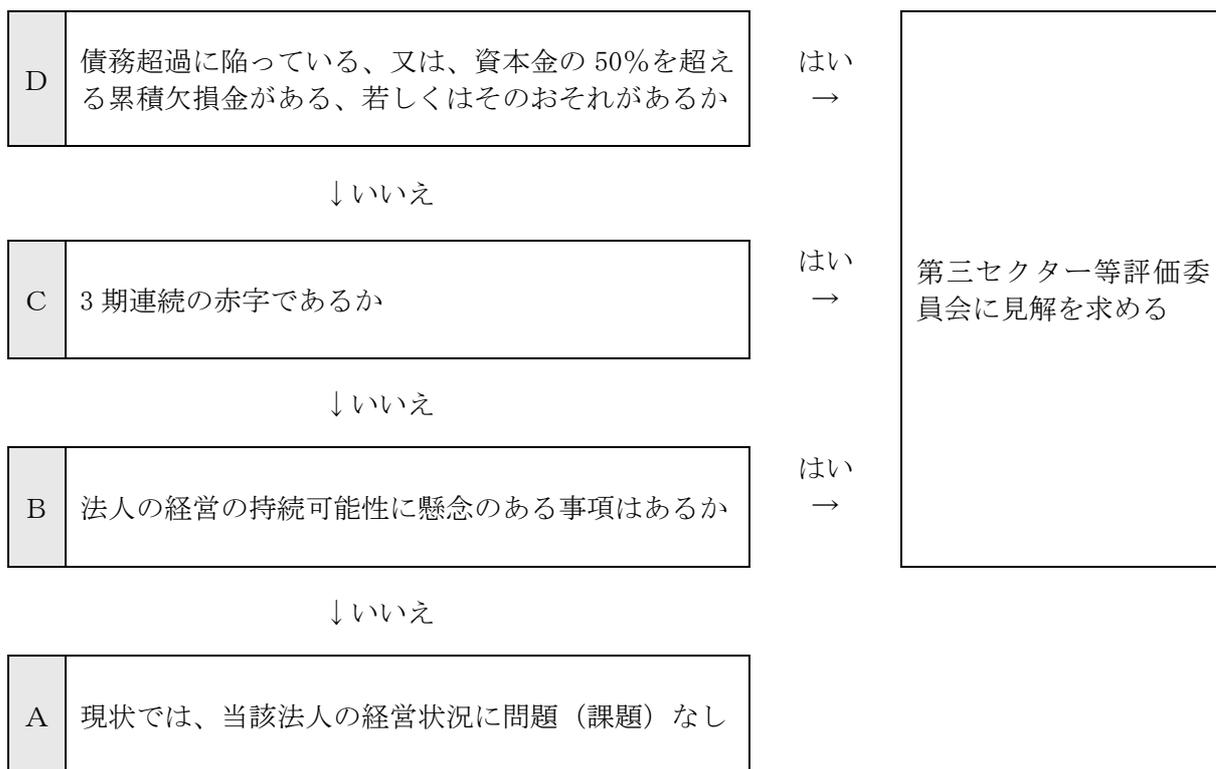
(2) 中長期経営計画

なし

9 令和4年度 経営状況の分析・評価

(1) 第三セクター等の経営状況の分析・評価のフローチャート

※「第三セクター等に対する関与方針」から抜粋



フローチャートによる評価基準		備考
A	経営状況に問題（課題）なし	引き続き経営努力を行う
B	法人の経営の持続可能性に懸念がある	経営健全化の可能性について、第三セクター等評価委員会に見解を求める
C	当期純利益が3期連続の単年度赤字である	
D	債務超過に陥っている、又は、資本金の50%を超える累積欠損金がある	

フローチャートによる評価	A
--------------	---

【特記事項】

- ・ 非営利法人においては、累積欠損金という概念がないため、初期の正味財産に対する減少分を累積欠損金と読み替える。
- ・ 「3期連続の赤字」の判断においては、「当期一般正味財産増減高」と「当期指定正味財産増減高」の合計がマイナスとなる場合は、赤字と読み替える。

令和3年度事業報告

1. 公益目的事業

1. 農作業支援事業

○農作業関係

公社の事業目的にある農作業支援については、農業者の高齢化と大型の機械化による更新や維持ができないため一時的に公社への委託も多く発生している。

個人の農業の廃止から公社或いは生産法人等への集約が進んでいるが、組織の中でも担い手や後継者がいないため、今後の農地の移動が懸念される場所である。

受託作業の料金については、上越市農業委員会の作業料金表と同額とし、田の管理状況に応じ一部割増料金を徴収している。

また、従来の公社を通しての再委託も数多くあったが、生産組織と直接農作業受委託され、作業料金の精算も直接行われる傾向となってきた。

再委託したものは令和3年度には1集落のみとなった。件数、面積は下記のとおりであり手数料として双方より1%を徴収している。

生産組合名	再委託内容
泉山ゆり機械生産組合	春耕転 10件 58.7時間、田植え 7件 632.7 a 秋耕耘 9件 78.8時間

○庭先集荷サービス事業

例年実施していた市単事業の「庭先集荷サービス事業」は、令和3年度で廃止となったことから、中山間地域直接支払交付金事業の「集落機能強化加算」で取り組み、参加者の負担軽減を図っている。

令和3年度は9名の参加者により、4月から12月末までの週2回実施し、118品目・15,656点、売上高2,943,650円で過去最高額となった。

各農家で生産された農産物や山菜等を集荷し販売することで、所得の向上と生産者の情報交換の場として今後も期待される事業である。販売先は主として「あるるん畑」である。

○牧ライスセンター等管理運営関係

令和3年度も、JAと施設業務委託契約書に基づき業務を実施した。

・ライスセンター部門

取扱量は、895t（コシヒカリ311t、こしいぶき64t、加工用米・飼料用170t、みずほの輝き67t、つきあかり226t、五割低減コシ57t）となって

いる。

稼働率については、近年の飼料米、加工米の需要拡大により、他の地域からの持ち込みが多くあったため、計画に対し 103.0%と前年度よりも 9 ポイント増となった。

要因としては、前年度に比べて全般的に豊作であったことが増につながった。しかし、JA の取り纏めよりも実際は自己米確保のため他法人等への移動が多かったことと、JA 上越営農センター管内の他施設の稼働状況も勘案しながら調整が図られるため、処理能力の 100%稼働率に届かず、今後もこのような現象が続くと思われる。

雇用については、JA 営農指導員と公社職員 2 名他雇用者で実施したが、指導員、職員については経験者となり、また、フォークリフト資格者の雇用と作業員の低年齢化を図ったことにより、事故防止と人件費の節約に努めた。

また、施設も老朽化し、雨漏りや機械の修理が多く発生すること等稼働中のトラブルが懸念されるため JA に改善を申し入れている。

・育苗部門

取扱量は、中苗 8,514 枚、稚苗 4,792 枚、合計 13,306 枚と前年度とほぼ同数となった。

・そばセンター部門

そばの取扱量は、54 t であった。ソバは天候が左右されるため、長雨や台風の影響による倒伏が多く、雑草の種子や根張りが悪く、土などの混入が見られ等級の格落ちが発生している。また、獣害による被害も年々多く発生し、収量が激減している地域もある。

粗選機、乾燥機等機械設備の老朽化も進んでいるが、他の施設より部品を調達しながら稼働しているが、機械全体の更新が急務となっている。

2. 農地保全事業

2 年度新たに榎谷 136.58a、柳島 6.33a、国川 26.3a を借り受け、作付面積は、3360.35a(水稲 2119.9a , 畑 1219.48a)となった。

収穫量は、2910 袋(平均反収 6.8 俵)で、1 等米比率は 50%となった。

販売先については、JA ヘコシ 69 袋・つきあかり 752 袋・もち米 68 袋、鈴波ヘコシ 270 袋、ハラキンヘコシ 494 袋・どんとこい 210 袋、独自販売 1047 袋となっている。

そばについては、3763.5 kg の収穫量で種子用保有以外は JA へ出荷した。

3. 農地利用集積円滑化事業等

○農地利用集積円滑化事業

農地利用円滑化事業は、公社が借入団体となり受け手に貸し出す制度で、平成 24 年度に認定を受け、契約事務及び更新の手続きを行ってきたが、中間管理事

業の実施により、制度が廃止されたため今後更新時には中間管理事業へ順次移行されることになっている。令和3年度中に中間管理機構への移行した件数は5件、3.2aとなっている。

○農地中間管理事業業務委託

3年度も引き続き、農用地利用集積計画に基づく出し手からの相談・受付、賃借期間や賃料の協議、契約締結等の事務を行なう委託業務を実施した。

経営転換・リタイヤする場合の「経営転換協力金」は、令和5年度で廃止される方向。令和4・5年度は地域集積協力金と一体的に取り組む場合についてのみ交付対象となる。

こういった要件から、中間管理事業へ新規で取り組む方や、円滑化から中間管理事業へ更新される方は少ない。

4. 中山間地域等直接支払業務委託事業

事務局（広域活動）

- ・ 中山間地域等直接支払交付金 事務処理
- ・ 交付金交付申請・実績報告
- ・ 活動報告書作成・支払
- ・ 超急傾斜農地保全活動（販売促進用チラシ、発送用袋、農作業用帽子作成）
- ・ 業務委託の集落数：23 集落

3年度交付金額	78,146,770 円
2年度繰越金	10,131,868 円
内 個人への支払額	42,978,705 円
共同活動への支払額	30,683,649 円
協定事務費	2,626,800 円（内公社受託費 1,169,860 円）
基金積立（事業繰越）	11,989,484 円

5. 多面的機能支払交付金事業

事務局（広域活動）

- ・ 組織の広域化・体制強化
- ・ 研修会への参加
- ・ 多面的機能支払交付金事業の事務処理
- ・ 業務委託の集落数：16 集落

3年度交付金額	11,921,970 円
2年度繰越金	3,624,106 円
支払額 農地維持支払・資源向上（共同活動）	9,873,434 円
資源向上（長寿命化）	1,974,750 円
事務局費	1,191,300 円
	（内公社受託費 621,376 円）

令和4年度へ繰越 2,506,592 円

6. 都市と農村交流事業

棚田オーナー会員 9名

会員募集については、東京牧村会の会報掲載と、米購入者にDM等で募集している。しかし、会員の高齢化と、新型コロナの蔓延防止等により体験ツアーも実施できずに米の発送と地域の情報提供のみとなっている。令和4年度は新たに季節の農産物をお届けすることで計画している。

- ・会費…年会費 29,000円
- ・会員特典…棚田米精米40kg又は玄米50kgと季節の農林産物

2. 収益事業

地域保全管理事業

1. 牧区水道施設管理業務

上越市ガス水道局：「牧簡易水道配水管路草刈り業務委託」

業務内容 L=3,000m W=2.0m

L=400m W=4.0m

枝払い・片付け・諸経費・税

実施時期 令和3年6月18日～7月7日

2. 道路除排雪業務

○上越市：「道路除排雪委託業務」

委託内容 除雪車貸与 日立1台・ロータリー車1台・キャタピラー1台
市道除雪 13路線 L=6.31km 他公共施設駐車場内
スノーポール設置 229本

委託期間 令和3年12月1日～令和4年3月31日

○上越市：「道路春先除雪委託業務」

委託内容 除雪車貸与 ロータリー車 1台
道路春先除雪計画に基づく除雪

委託期間 令和3年4月1日～令和3年5月31日

○上越市：「林道春先除雪委託業務」

委託内容 除雪車貸与 ロータリー車 1台
林道春先除雪計画に基づく除雪

委託期間 令和3年4月8日～令和3年4月30日

3. 会 議

- 令和3年5月20日 監査会
- ・令和2年度事業及び決算に関する件
- 令和3年5月27日 理事会
- ・令和2年度事業報告及び決算に関する件
 - ・定時評議員会開催に関する件
- 令和3年6月8日 評議員会
- ・令和2年度事業報告及び決算に関する件
- 令和4年3月24日 理事会
- ・職員の事務分掌、給与等に関する件
 - ・令和4年度事業計画及び予算に関する件
 - ・長期借入限度額に関する件
 - ・定時評議員会開催に関する件
- 令和4年3月28日 評議員会
- ・令和4年度事業計画及び予算に関する件
 - ・長期借入限度額に関する件
- 各種研修会、会議に参加

令和3年度事業実績

(公財) 牧農林業振興公社

農作業支援事業		[19,565,897 円]	農業機械の過剰投資の防止・高齢農家への支援の為に部分作業を受託する事業	
			作業名	令和3年度実績
水稻関係		16,963,395 円	耕耘	0.1 ha
公社水田作業料		2,366,404 円	代掻	0.2 ha
再委託(泉)		941,630 円	田植	1.6 ha
ライスセンター		12,663,953 円	江立	15.7 ha
育苗関係(硬化苗委託・公社育苗)		991,408 円	刈取	4.2 ha
			育苗	受託枚数 13,306枚枚
畑作関係		2,382,502 円	耕耘	0.0 ha
公社畑作業料		1,716,350 円	播種	0.0 ha
そばセンター		666,152 円	刈取	15.5 ha
農地中間管理事業			貸付件数	5 件
業務委託費		190,000 円	年度末取扱面積	3.2 ha
農地保全事業		[21,844,842 円]	農地の荒廃化防止の為に、公社自身が担い手となって農地を耕作し保全する事業	
水稻 21.19ha	J Aへ出荷	4,017,330 円	令和3年度実績	
	独自販売	11,100,960 円		
	大口販売	6,680,100 円	総借入件数	112 件
			総借入面積	33.6 ha
			J Aへ出荷	4,017,330 円
			独自販売	17,781,060 円
ソバ	J Aへ出荷(そば)	46,452 円	J Aへ出荷	2,560.0 kg
農地利用集積円滑化等事業		[4,343,689 円]	担い手に農地を集積し地域の営農体制の強化を図る事業	
農地利用集積円滑化事業			令和3年度実績(円滑化)	
受取賃借料		4,343,689 円	借入件数	174 件
			貸付件数	40 件
			年度保有面積	57.4 ha
直払い等事務受託		[1,791,236 円]	牧区農振会・牧区農地を守る会より受託	
中山間地域直接支払		1,169,860 円	令和3年度実績	
多面的機能支払		621,376 円		
地域保全管理事業		[25,628,614 円]	牧区内の公的施設等を保全管理する事業	
			令和3年度実績	
牧区水道施設管理業務		392,040 円	上越市より受託	392,040 円
道路除排雪業務		25,236,574 円	上越市より受託	25,236,574 円
事業収入合計		73,174,278 円		

※※※※※※※※※※※※※※※※※※

決算報告書

※※※※※※※※※※※※※※※※※※

自 令和 3 年 4 月 1 日

至 令和 4 年 3 月 31 日

公益財団法人 牧農林業振興公社

貸借対照表

令和4年3月31日現在

公益財団法人 牧農林業振興公社
一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	17,064,369	11,082,354	5,982,015
棚卸資産	2,314,930	1,635,010	679,920
貯蔵品	3,088,216	3,681,813	△ 593,597
その他流動資産	593,903	603,117	△ 9,214
未収金	14,705,416	20,085,343	△ 5,379,927
流動資産合計	37,766,834	37,087,637	679,197
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
出捐金	30,000,000	30,000,000	0
基本財産合計	30,000,000	30,000,000	0
(2) 特定資産			
建物	12,954,091	12,954,091	0
農業用機械・装置	14,239,875	14,239,875	0
減価償却累計額	△ 23,035,152	△ 22,650,416	△ 384,736
退職給付引当資産	5,866,192	4,744,286	1,121,906
特定費用準備資	459,800	0	459,800
資産取得資金	12,368,200	20,393,780	△ 8,025,580
特定資産合計	22,853,006	29,681,616	△ 6,828,610
(3) その他固定資産			
建物	29,776,797	20,536,797	9,240,000
建物付属設備	739,397	739,397	0
構築物	5,184,000	5,184,000	0
農業用機械・装置	74,300,101	59,300,101	15,000,000
車両運搬具	10,739,801	10,739,801	0
リース資産	7,000,000	7,000,000	0
什器備品	1,146,750	1,146,750	0
減価償却累計額	△ 67,173,898	△ 58,189,619	△ 8,984,279
その他の固定資産	192,500	244,340	△ 51,840
電話加入権	74,984	74,984	0
その他固定資産合計	61,980,432	46,776,551	15,203,881
固定資産合計	114,833,438	106,458,167	8,375,271
資産合計	152,600,272	143,545,804	9,054,468
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	17,922,280	21,412,422	△ 3,490,142
前受金	5,000	0	5,000
預り金	1,100,121	1,097,146	2,975
未払法人税等	584,200	600,700	△ 16,500
未払消費税	1,097,200	1,472,800	△ 375,600
流動負債合計	20,708,801	24,583,068	△ 3,874,267
2. 固定負債			
長期借入金	4,000,000	0	4,000,000
退職給付引当金	5,866,192	4,744,287	1,121,905

長期未払金	0	204,000	△ 204,000
固定負債合計	9,866,192	4,948,287	4,917,905
負債合計	30,574,993	29,531,355	1,043,638
Ⅲ 正味財産の部			
Ⅰ. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	26,819,330	27,204,066	△ 384,736
民間補助金	5,000,000	5,000,000	0
指定正味財産合計	31,819,330	32,204,066	△ 384,736
(うち基本財産への充当額)	30,000,000	30,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	1,819,330	2,204,066	△ 384,736
Ⅱ. 一般正味財産	90,205,949	81,810,383	8,395,566
(うち特定資産への充当額)	15,167,484	22,733,264	△ 7,565,780
正味財産合計	122,025,279	114,014,449	8,010,830
負債及び正味財産合計	152,600,272	143,545,804	9,054,468

正味財産増減計算

2021年4月1日から2022年3月31日まで

公益財団法人 牧農林業振興公社

(単位：円)

科 目	一般会計			(D) 本年度決算額 (A)+(B)+(C)	(D) 前年度決算額	増 減 (D)-(E)
	(A) 公益目的事業会	(B) 収益事業等会計	(C) 法人会計			
I 一般正味財産増減の部						
I. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	391	391	1,803	△ 1,412
基本財産受取利息	0	0	391	391	1,803	△ 1,412
特定資産運用益	0	0	22	22	41	△ 19
特定資産受取利息	0	0	22	22	41	△ 19
事業収益	47,545,664	25,628,614	0	73,174,278	80,500,977	△ 7,326,699
農作業受委託事業収益	19,565,897	0	0	19,565,897	21,155,296	△ 1,589,399
農地保全事業収益	21,844,842	0	0	21,844,842	22,859,616	△ 1,014,774
農地利用集積円滑化事業収益	4,343,689	0	0	4,343,689	4,479,773	△ 136,084
広域協定事務受託事業収益	1,791,236	0	0	1,791,236	1,925,274	△ 134,038
地域環境整備事業収益	0	392,040	0	392,040	404,140	△ 12,100
除雪作業収益	0	25,236,574	0	25,236,574	29,676,878	△ 4,440,304
加工事業収益	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	13,396,728	0	103,438	13,500,166	13,801,870	△ 301,704
受取地方公共団体補助金	1,545,500	0	0	1,545,500	2,233,000	△ 687,500
受取地方公共団体補助金振替額	384,736	0	0	384,736	384,740	△ 4
受取地方公共団体助成金	10,116,833	0	0	10,116,833	9,620,401	496,432
受取民間助成金	1,349,659	0	103,438	1,453,097	1,563,729	△ 110,632
負担金収入	290,000	0	0	290,000	232,000	58,000
負担金収入	290,000	0	0	290,000	232,000	58,000
雑収益	881,028	7,410	407,425	1,295,863	1,725,127	△ 429,264
受取利息	1	0	203	204	568	△ 364
雑収益	763,772	7,410	407,222	1,178,404	1,600,531	△ 422,127
手数料収入	117,255	0	0	117,255	124,028	△ 6,773
期末農産物棚卸高	2,314,930	0	0	2,314,930	1,635,010	679,920
経常収益計	64,428,350	25,636,024	511,276	90,575,650	97,896,828	△ 7,321,178
(2) 経常費用						
事業費	64,832,824	13,989,047	0	78,821,871	80,182,539	△ 1,360,668
役員報酬	988,000	286,000	0	1,274,000	1,254,400	19,600
給料手当	21,094,332	3,827,348	0	24,921,680	21,864,349	3,057,331
臨時雇賃金	6,028,156	210,750	0	6,238,906	7,376,952	△ 1,138,046

正味財産増減計算

2021年4月1日から2022年3月31日まで

公益財団法人 牧農林業振興公社

(単位：円)

科 目	一般会計			(D) 本年度決算額 (A)+(B)+(C)	(D) 前年度決算額	増 減 (D)-(E)
	(A) 公益目的事業会	(B) 収益事業等会計	(C) 法人会計			
退職給付費用	852,648	235,600	0	1,088,248	759,043	329,205
福利厚生費	3,435,332	747,707	0	4,183,039	3,908,458	274,581
通信運搬費	539,107	0	0	539,107	472,285	66,822
減価償却費	9,113,598	71,059	0	9,184,657	7,675,442	1,509,215
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0
消耗品費	1,530,678	163,941	0	1,694,619	2,186,608	△ 491,989
修繕費	1,003,275	409,661	0	1,412,936	3,998,078	△ 2,585,142
燃料費	1,307,592	2,211,398	0	3,518,990	3,080,459	438,531
燃料費	1,190,047	1,724,692	0	2,914,739	2,460,933	453,806
軽油引取税	117,545	486,706	0	604,251	619,526	△ 15,275
光熱水料費	477,300	129,666	0	606,966	575,350	31,616
賃借料	7,211,090	108,011	0	7,319,101	7,814,542	△ 495,441
保険料	779,492	193,040	0	972,532	942,544	29,988
租税公課	587,330	2,763,800	0	3,351,130	3,507,800	△ 156,670
支払負担金	261,061	0	0	261,061	41,368	219,693
農地整備費	62,590	0	0	62,590	607,200	△ 544,610
支払手数料	186,157	0	0	186,157	203,583	△ 17,426
委託費	3,754,690	2,631,066	0	6,385,756	8,192,461	△ 1,806,705
支払利息	0	0	0	0	0	0
資材費	5,620,396	0	0	5,620,396	5,712,584	△ 92,188
交際費	0	0	0	0	9,033	△ 9,033
管理費	0	0	1,723,203	1,723,203	1,549,983	173,220
役員報酬	0	0	26,000	26,000	25,600	400
給料手当	0	0	210,083	210,083	184,189	25,894
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	33,657	33,657	23,476	10,181
福利厚生費	0	0	42,198	42,198	42,132	66
旅費交通費	0	0	57,794	57,794	36,080	21,714
通信運搬費	0	0	275,178	275,178	266,880	8,298
減価償却費	0	0	236,198	236,198	97,930	138,268
消耗品費	0	0	237,246	237,246	196,779	40,467
修繕費	0	0	0	0	25,585	△ 25,585
光熱水料費	0	0	11,390	11,390	11,332	58

正味財産増減計算

2021年4月1日から2022年3月31日まで

公益財団法人 牧農林業振興公社

(単位：円)

科 目	一般会計			(D) 本年度決算額 (A)+(B)+(C)	(D) 前年度決算額	増 減 (D)-(E)
	(A) 公益目的事業会	(B) 収益事業等会計	(C) 法人会計			
賃借料	0	0	15,430	15,430	16,155	△ 725
保険料	0	0	43,890	43,890	43,890	0
租税公課	0	0	216,000	216,000	204,000	12,000
支払負担金	0	0	257,400	257,400	300,150	△ 42,750
支払手数料	0	0	41,509	41,509	1,700	39,809
委託費	0	0	19,230	19,230	20,477	△ 1,247
交際費	0	0	0	0	53,628	△ 53,628
期首農産物棚卸高	1,635,010	0	0	1,635,010	2,407,900	△ 772,890
経常費用計	66,467,834	13,989,047	1,723,203	82,180,084	84,140,422	△ 1,960,338
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,039,484	11,646,977	△ 1,211,927	8,395,566	13,756,406	△ 5,360,840
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,039,484	11,646,977	△ 1,211,927	8,395,566	13,756,406	△ 5,360,840
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
固定資産除却損	0	0	0	0	1,836,562	△ 1,836,562
経常外費用計	0	0	0	0	1,836,562	△ 1,836,562
当期経常外増減額	0	0	0	0	△ 1,836,562	1,836,562
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,039,484	11,646,977	△ 1,211,927	8,395,566	11,919,844	△ 3,524,278
他会計振替額	9,600,106	△ 9,600,106	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	7,560,622	2,046,871	△ 1,211,927	8,395,566	11,919,844	△ 3,524,278
一般正味財産期首残高	55,773,035	20,453,442	5,583,906	81,810,383	69,890,539	11,919,844
一般正味財産期末残高	63,333,657	22,500,313	4,371,979	90,205,949	81,810,383	8,395,566
II 指定正味財産増減の部						
一般正味財産への振替額	△ 384,736	0	0	△ 384,736	△ 384,740	4
減価償却費計上による振替分	△ 384,736	0	0	△ 384,736	△ 384,740	4
当期指定正味財産増減額	△ 384,736	0	0	△ 384,736	△ 384,740	4
指定正味財産期首残高	2,204,066	0	30,000,000	32,204,066	32,588,806	△ 384,740
指定正味財産期末残高	1,819,330	0	30,000,000	31,819,330	32,204,066	△ 384,736
III 正味財産期末残高	65,152,987	22,500,313	34,371,979	122,025,279	114,014,449	8,010,830

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当なし
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による
- (3) 固定資産の減価償却の方法
定額法による減価償却を実施
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金
期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上
- (5) リース取引の処理方法
ファイナンスリース取引の内リース契約1件当たりのリース料総額が300万円以上の取引については、売買処理によっている。
上記以外については通常の賃貸借取引によっている。
- (6) 消費税の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式

2. 会計方針の変更 該当なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
出 捐 金	30,000,000	0	0	30,000,000
小 計	30,000,000	0	0	30,000,000
特定資産				
建 物	12,954,091	0	0	12,954,091
農業用機械・装置	14,239,875	0	0	14,239,875
減価償却累計額	-22,650,416	0	384,736	-23,035,152
退職給付引当資産	4,744,286	1,121,906	0	5,866,192
特定費用準備資金	0	459,800	0	459,800
資産取得資金	20,393,780	12,368,200	20,393,780	12,368,200
小 計	29,681,616	13,949,906	20,778,516	22,853,006
合 計	59,681,616	13,949,906	20,778,516	52,853,006

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
出 捐 金	30,000,000	30,000,000	-	-
小 計	30,000,000	30,000,000	0	0
特定資産				
建 物	12,954,091	12,954,091	-	-
農業用機械・装置	14,239,875	5,450,720	8,789,155	-
減価償却累計額	-22,650,416	-16,200,745	-6,449,671	-
退職給付引当資産	5,866,192	-	-	5,866,192
特定費用準備資金	459,800	-	459,800	-
資産取得資金	12,368,200	-	12,368,200	-
小 計	23,237,742	2,204,066	15,167,484	5,866,192
合 計	53,237,742	32,204,066	15,167,484	5,866,192

5. 担保に供している資産
該当なし
6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
該当なし
7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高
該当なし
8. 保証債務等の偶発債務
該当なし
9. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
該当なし
10. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
地域公共団体補助金 地域農業担い手公社支援事業	上越市	2,204,066	0	384,736	1,819,330	指定正味財産
中山間地域等 直接支払交付金	〃	0	0	0	0	一般正味財産
かん水用機械等設備 対策事業費補助金	〃	0	0	0	0	〃
中山間地域振興 作物生産拡大事業補助金	〃	0	486,000	486,000	0	〃
環境保全型農業直接支払 交付金	〃	0	1,059,500	1,059,500	0	〃
畑作物の直接支払交付金	北陸 農政局	0	1,554,800	1,554,800	0	〃
水田活用の直接支払 交付金	〃	0	2,742,400	2,742,400	0	〃
中山間地域等直接支払 交付金	牧区 農振会	0	5,819,633	5,819,633	0	〃
庭先集荷サービス助成金	〃	0	103,438	103,438	0	〃
支部活動助成金	牧農業生産組織 連絡協議会	0	15,000	15,000	0	〃
直接支払集落協定交付金	東松ノ木 集落	0	58,789	58,789	0	〃
直接支払集落協定交付金	小川集落	0	274,460	274,460	0	〃
直接支払集落協定交付金	中条集落	0	20,496	20,496	0	〃
農の雇用事業助成金	全国農業 会議所	0	980,914	980,914	0	〃
合 計		2,204,066	13,115,430	13,500,166	1,819,330	

11. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳
指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	384,736
合 計	384,736

12. 関連当事者との取引の内容
該当なし
13. 重要な後発事象
該当なし
14. その他
該当なし

財 産 目 録

令和 4 年 3 月 31 日現在

公益財団法人 牧農林業振興公社
一般会計

(単位: 円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
現金 預金 棚卸資産 貯蔵品 その他流動資産 未収金	現金	手元保管	運転資金として	211, 720
	預金	普通預金	運転資金として	16, 852, 649
		えちご上越農業協同組合		16, 442, 069
		第四銀行		12, 105
		郵便振替		52, 883
		収益事業会計(JA)		345, 592
			米(345袋ほか)	2, 314, 930
			資材(種籾、育苗関係)	3, 088, 216
		収入減少影響緩和交付金	593, 903	
		除雪費用等に充当	14, 705, 416	
流動資産合計				37, 766, 834
(固定資産)				
基本財産				
出捐金	えちご上越農業協同組合	JAえちご上越牧支店	運用益を管理費の財源として使用している。	30, 000, 000
	第四銀行	第四北越銀行高田営業部	//	10, 000, 000
	ゆうちょ銀行	沖見郵便局	//	10, 000, 000
				10, 000, 000
特定資産				
建物 指定正味財産として受入れた額 農業用機械・装置 指定正味財産として受入れた額 一般正味財産から特定資産へ充当した額 減価償却累計額 指定正味財産として受入れた額 一般正味財産から特定資産へ充当した額 退職給付引当資産 特定費用準備資 資産取得資金	建物	事務所及び格納庫	公益目的事業及び管理に必要な活動に供する財産	12, 954, 091
				12, 954, 091
	農業用機械・装置	コンバイン・トラクター等	公益目的事業に必要な活動に供する財産	14, 239, 875
				5, 450, 720
				8, 789, 155
		建物、農業用機械・装置	公益目的事業及び管理に必要な活動に供する財産	△ 23, 035, 152
				△ 16, 585, 481
				△ 6, 449, 671
	JAえちご上越牧支店	職員に対する退職金に充当	5, 866, 192	
	加工所屋根修繕	屋根塗装	459, 800	
	農業用機械積立	色彩選別機一式、トラクター ほか	12, 368, 200	
その他固定資産				
建物 建物付属設備 構築物 農業用機械・装置 車両運搬具 リース資産 什器備品 減価償却累計額 その他の固定資産 電話加入権	建物	格納庫籾タンク	公益目的事業及び管理に必要な活動に供する財産	29, 776, 797
	建物付属設備	・第2格納庫		739, 397
	構築物			5, 184, 000
	農業用機械・装置	コンバイン・トラクター等	//	74, 300, 101
	車両運搬具	トラック	//	10, 739, 801
	リース資産	汎用コンバイン・D27 ^ル	//	7, 000, 000
	什器備品		//	1, 146, 750
	減価償却累計額	建物、農業用機械	//	△ 67, 173, 898
	その他の固定資産	リサイクル料	//	192, 500
	電話加入権	電話加入権	//	74, 984
固定資産合計				114, 833, 438

資産合計				152,600,272
(流動負債)	未払金			17,922,280
	前受金	上越勤労者福祉サービスセンター	社員へ勤続祝い金(給付金)預かり	5,000
	預り金	除雪関係費用等	社会保険、源泉預り	1,100,121
	社会保険料預り金	3月分社会保険	公社職員等に係る3月分所得税	674,628
	所得税預り金	源泉預り(納期特例)	納期特例により1月~3月分	425,493
	未払法人税等	3年度法人税分	3年度未払い法人税	584,200
	未払消費税	3年度消費税精算分	3年度精算分未払い消費税	1,097,200
流動負債合計				20,708,801
(固定負債)	長期借入金			4,000,000
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員6名に対する退職金の 支払に備えたもの	5,866,192
固定負債合計				9,866,192
負債合計				30,574,993
正味財産				122,025,279

監 査 報 告 書

公益財団法人 牧農林業振興公社
理事長 中 川 耕 平 様

公益財団法人 牧農林業振興公社の令和3年度における業務執行状況、財政状況及び会計決算について監査した結果を下記のとおり報告します。

事業報告等の監査結果

1. 事業報告及びその付属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
2. 貸借対照表、損益計算書類及びその付属明細書並びに財産目録を監査した結果、適正に処理、記載されていると認めます。

令和4年5月23日

監 事 丸 山 進 

監 事 塚 田 忠 昭 

令和4年度事業計画書

事業方針

令和3年産米の出来高については、収量は昨年より多かったが、天候不順と少し早刈りのため未熟米等により品質の低下がみられた。今後も続くと予想される異常気象に対応するため、田植の時期と水管理、江立ての徹底、梅雨に発生する豪雨と干害による自然災害に対応すべき圃場の見回りと、適期の作業を実施することにより良質米の生産に努めていかなければならない。

特に、品種の選定と高温期に対する作付けの時期、収穫の適期など、気候に合わせた農作業を実践していくこととし、従来のコシヒカリ中心からそれ以外の業務用米といわれる「つきあかり」等の多収穫米の生産拡大を図り、国の施策に沿った米づくりを実施していく。

本年度も委託業務として、ライスセンター等の施設管理、除雪業務等を受託することにより経営資金の安定化を図っていく。また、中山間地域等直接支払を中心に、環境保全型農業直接支払等の交付金を活用した農地・農用施設の整備、経営所得安定対策や米、ソバ等の戦略作物による水田フル活用を進める中で荒廃地の防止に努めていく。

このような状況を踏まえ、次に掲げる事業を積極的に展開していく。

1. 農業の担い手の育成に関すること

- 各オペレーターともに大特、作業免許、草刈り講習、フォークリフト資格等も有し、即戦力として業務に携わっている。また、各種研修や情報交換の場に積極的に参加し技術の向上を図っていく。また各年代層に1名ずつおりバランスが取れている。

2. 農作業支援に関すること

- 農業者の多くは70才以上の高齢者で、経営規模が零細である上、生産条件も悪く危険度も高い。近年高齢化に伴い生産組織等への農地の移動も多くなってきているが、突発的な下支えとしての公社の役割は大きい。
- 生産組織への再委託については、公社で取り纏め、更に作業料金の徴収・精算業務を行なうことで生産組織の負担軽減を図っている。しかし、取扱件数は年々減少傾向にあり現在は1集落のみとなっている。
- JA えちご上越より牧ライスセンター及びそばセンター、育苗関係業務を受託し本年度で7年目を迎えるが、過去の反省を含め更に経費の節減に努めるとともに、JAと連携を密にしながら稼働率のアップに努める。
 - ライスセンターに関しては、例年飼料用米、業務用米を多く受け入れているが、今後もできるだけ多く地域外の米を受け入れるよう働きかけをしていく。

近年の天候不順により、収穫時期にもバラつきが生じ、稼働期間も年々伸びている。

また、ソバの収穫期との重複部分があるため作業の調整に苦慮する部分が生じてきている。

- 育苗関係については、耕作面積の減少等により JA からの受託枚数は約 13,000 枚と年々減少傾向にある。また、再委託していた組織も減少したため、育苗施設を増床し健苗の育成に努める。
- ソバについては、昨年同様に JA 頸北及びわかば管内の乾燥調製を行っており、本年度も同様に実施していく。
- ・ 農作業料金については、上越市農業委員会での規定を参考とし、作業内容によっては一部割増基準を設けている。しかし、近年の気象状況は変動が激しく、また、農家によっては、十分な肥培管理が実施されておらず農作業には大変な労力を要しているのが現状である。

3. 農用地の保全に関すること

- ・ 小規模経営農家の離農は中間管理事業の推進により更に拍車がかかり、農地の流動化が進んでいる。中山間地域での農地の集約は大変厳しい状況にあるが、公社を中心に、各生産組織や近隣耕作者と連携を取りながら耕作放棄地の解消に努めていく。
- ・ 引き続き中山間地域等直接支払と多面的機能支払、環境保全型農業直接支払など国の制度を活用しながら農地の維持管理に努めていく。
- ・ 近年、無人ヘリやドローンによるカメムシの防除を実施しているが、環境基準に適応した薬剤や除草剤を使用することにより良質米の確保に努める。
- ・ 公社の圃場も牧区全域にわたるため作業効率が極めて悪く、管理体制が万全とは言い難い。極力水田として活用する一方、条件不利地についてはソバの生産に切り替えることとしている。また、一団の纏まった農地の日常管理については、地元の協力を得ながら作業の効率化を図っていく。
- ・ 賃借料については、コロナ禍による需要の低迷、価格の低下、肥料農薬等資材の高騰、消費者のコメ離れにより、契約更新時には賃借料の見直しを図っていく。

4. 農地利用集積円滑化等に関すること

- ・ 農地利用円滑化事業は、中間管理事業の実施により、制度が廃止されたため今後更新時には中間管理事業へ順次移行されることになっている。
- ・ 農地中間管理事業は、県農林公社が借入れ、受け手に貸し出す制度で、円滑化事業の契約更新時に中間管理事業へ移行するため、取扱い事務が増加することとなる。
- ・ 農業が廃止される農地について、借り入れ希望者の把握と貸付対象農地の利用調整を図り、公社が窓口となって相談や借入手続きに応じていく。

5. 都市と農村との交流促進に関すること

首都圏から人を呼び込むことで、農産物の主要消費地である都市と農村との人的交流を図る目的で「ふるさと棚田オーナー制度」を取組み、東京牧村会を始め友人知人等を介し募集を行なっているが、会員の高齢化と新規加入者も多くは望めず減少傾向である。また、新型コロナ禍により各種イベントの中止が続いている。

今後も牧区農業振興会を中心として、中山間地域等直払の「販売促進対策」を活用した首都圏をはじめ各種イベントに積極的に参加し、都市住民との交流を通じて安全安心な農産物をPRし会員の拡大を図っていく。

6. 地域活性化のための事業の受託に関すること

第5期中山間地域等直接支払制度が3年目を迎え、広域協定の事務局（「牧区農業振興会」）として、各集落の関係事務を受託することで集落の負担軽減を図っていく。

牧区農業振興会は「地域マネジメント組織」としての位置づけされているため制度を活用し、庭先集荷事業を取り組み、牧区の農産物の販売促進に寄与することとしている。

・中山間地域直接支払交付金等事務

牧区農業振興会は、5期対策では23集落で構成され、交付金額は78,146千円となっており、事務の効率化を図るため広域への参加を積極的に呼びかけ集落負担の軽減に努めている。

主として事務局では活動の取り纏めと収支の執行、超急傾斜農地の保全活動、農産物の商品化・直販、都市との交流による販売促進と消費者の呼び込み等を行っている。

23集落以外でも、協定の持てない集落で耕作しているところについても、個別協定を組み荒廃地の防止に努めている。

5期対策から新たに、棚田地域振興加算、集落機能強化加算など追加事業も加わり制度が充実されたことにより棚田地域振興加算1集落、集落機能強化加算に3集落が取組んでいる。今後地域にあった加算活動に期待できることとなった。

・多面的機能支払交付金事務

令和3年度からは2期対策としての実践活動を行っている。

「牧区農地を守る会」は主として農地の維持管理や資源向上共同活動、長寿命化の取り纏めを行なってきた。

高齢化が進む中で、毎年改編される農業施策に対し、趣旨を理解しながらも、事務処理を進めることは農家にとって大きな負担となっている。

各制度を最大限活用する中で、農道・用水路等の維持管理費の負担軽減を図っていく。今後も広域協定への参加を呼びかけ、一体となった活動ができるよう努めていく。

7 生活道路及び公共施設の駐車場確保のための除雪作業

冬期間の地域住民の生活道路を確保するための除雪作業、安全・安心して通行できるよう危険箇所の点検、障害物の除去、また、公共施設の駐車場の確保など、上越市の委託事業として実施している。

実施に当たっては、職員と臨時オペで対応しているが、資格を取得したことにより、ドーザー及びロータリー除雪車相互の運転技術の向上に努める。

8 地域環境整備事業

上越市ガス水道局の委託事業として、牧区全域に通水している水道施設の管理用道路及び 施設周辺の草刈り作業を実施していく。

令和 4 年度事業計画内訳表

(公財)牧農林業振興公社

農作業支援事業 [13,024 千円]		農業機械の過剰投資の防止・高齢農家への支援の為に部分作業を受託する事業			
		(公社)作業名	令和3年度実績		令和4年度計画
水稲関係	2,784 千円	耕 耘	0.1	h a	0.2 h a
育苗関係	400 千円	代 掻	0.2	h a	0.2 h a
ライスセンター	7,000 千円	田 植	1.6	h a	1.7 h a
		江 立	15.7	h a	16.0 h a
		刈 取	4.2	h a	5.0 h a
畑作関係	1,740 千円	耕 耘	0.0	h a	0.3 h a
そばセンター	1,100 千円	播 種	0.0	h a	0.0 h a
		刈取(そば)	15.5	h a	16.0 h a
堆肥運搬	0 千円				
農地保全事業 [23,200 千円]		農地の荒廃化防止の為、公社自身が担い手となって担い手のいない農地を耕作し保全する事業			
水稲	J A へ出荷	6,000 千円	総借入件数	112 件	114 件
	独自販売	16,200 千円	総借入面積	33.6 h a	34.1 h a
			水稲	21.2 h a	22.0 h a
			そば	12.2 h a	11.8 h a
ソバ	J A へ出荷	1,000 千円			
農地利用集積円滑化事業 [3,844 千円]		担い手に農地を集積し地域の営農体制の強化を図る事業			
農地利用集積円滑化事業			令和3年度実績	令和4年度計画	
受取賃借料	3,844 千円	借入件数	174 件	162 件	
(受取手数料)	(87)	貸付件数	40 件	36 件	
		年度末保有面積	57.4 h a	55.2 h a	
直払い事務等業務受託 [1,700 千円]		牧区農振会・牧区農地を守る会より受託			
			令和3年度実績	令和4年度計画	
中山間地域等直接支払	1,000 千円	委託料	1,170 千円	1,000 千円	
多面的機能支払交付金	700 千円	委託料	621 千円	700 千円	
都市と農村交流事業 [290 千円]		都市と農村の人的交流を促進することで、地域の活性化を図る事業			
			令和3年度実績	令和4年度計画	
棚田オーナー交流	290 千円	会員数	9 人	10 人	
		ツアー参加者	0 人	4 人	
地域保全管理事業 [18,820 千円]		牧区内の公的施設等を保全管理する事業			
			令和3年度実績	令和4年度計画	
牧区水道施設管理業務	320 千円	上越市より受託	392 千円	320 千円	
道路除排雪業務	18,500 千円	上越市より受託	25,237 千円	18,500 千円	
事業収入合計		60,878		千円	

公益財団法人牧農林業振興公社 令和4年度収支予算書

令和4年4月1日 から 令和5年3月31日まで

(単位：円)

科 目	本年度				前年度	増 減
	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計	合計	
I 一般正味財産増減の部						
Ⅰ. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	1,000	1,000	1,000	0
基本財産受取利息	0	0	1,000	1,000	1,000	0
特定資産運用益	0	0	1,000	1,000	1,000	0
特定資産受取利息	0	0	1,000	1,000	1,000	0
事業収益	42,058,000	18,820,000	0	60,878,000	59,655,000	1,223,000
農作業 受委託事業収益	13,024,000	0	0	13,024,000	11,618,000	1,406,000
農地保全事業収益	23,200,000	0	0	23,200,000	23,250,000	△ 50,000
農地利用集積 円滑化事業収益	3,844,000	0	0	3,844,000	4,363,000	△ 519,000
広域協定 事務受託事業収益	1,700,000	0	0	1,700,000	1,500,000	200,000
都市と農村交流 事業収益	290,000	0	0	290,000	290,000	0
地域環境整備 事業収益	0	320,000	0	320,000	634,000	△ 314,000
除雪作業収益	0	18,500,000	0	18,500,000	18,000,000	500,000
受取補助金等	12,520,500	0	100,000	12,620,500	12,502,000	118,500
受取地方公共団体 補助金	2,613,500	0	0	2,613,500	300,000	2,313,500
受取地方公共団体 助成金	8,541,000	0	0	8,541,000	5,260,000	3,281,000
受取民間助成金	1,366,000	0	100,000	1,466,000	6,942,000	△ 5,476,000
雑収益	710,000	58,000	152,000	920,000	931,000	△ 11,000
受取利息	0	0	1,000	1,000	1,000	0
手数料収入	110,000	0	1,000	111,000	124,000	△ 13,000
雑収益	600,000	58,000	150,000	808,000	806,000	2,000
経常収益計	55,288,500	18,878,000	254,000	74,420,500	73,090,000	1,330,500
(2) 経常費用						0
事業費	63,479,237	9,296,983		72,776,220	69,858,850	2,917,370
役員報酬	1,048,800	303,600		1,352,400	1,293,600	58,800

科 目	本年度				前年度	增 減
	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計	合計	
給料手当	20,533,120	1,462,020		21,995,140	20,723,640	1,271,500
臨時雇賃金	4,480,000	1,441,000		5,921,000	6,076,000	△ 155,000
退職給付費用	735,564	203,248		938,812	664,450	274,362
福利厚生費	3,346,640	236,190		3,582,830	3,059,920	522,910
旅費交通費	0	0		0	0	0
通信運搬費	550,000	0		550,000	521,000	29,000
減価償却費	10,010,593	70,245		10,080,838	7,231,000	2,849,838
消耗什器備品費	100,000	0		100,000	100,000	0
消耗品費	1,350,000	100,000		1,450,000	1,805,000	△ 355,000
修繕費	1,538,000	510,500		2,048,500	2,548,500	△ 500,000
燃料費	1,400,000	2,250,000		3,650,000	3,600,000	50,000
光熱水料費	431,680	116,780		548,460	739,620	△ 191,160
賃借料	6,432,920	113,820		6,546,740	7,484,620	△ 937,880
保険料	780,000	194,000		974,000	899,000	75,000
租税公課	1,978,920	1,180,080		3,159,000	2,974,000	185,000
支払負担金	256,000	0		256,000	52,000	204,000
支払手数料	219,000	0		219,000	173,000	46,000
委託費	3,238,000	1,115,500		4,353,500	4,195,500	158,000
資材費	5,000,000	0		5,000,000	5,668,000	△ 668,000
交際費	50,000	0		50,000	50,000	0
管理費			1,310,450	1,310,450	1,414,150	△ 103,700
役員報酬			27,600	27,600	26,400	1,200
給料手当			208,860	208,860	216,360	△ 7,500
退職給付費用			29,036	29,036	20,550	8,486
福利厚生費			25,170	25,170	28,080	△ 2,910
旅費交通費			67,000	67,000	58,000	9,000
通信運搬費			30,600	30,600	289,000	△ 258,400
減価償却費			235,384	235,384	86,000	149,384
消耗什器備品費			100,000	100,000	0	100,000
消耗品費			154,000	154,000	150,000	4,000
修繕費			1,500	1,500	1,500	0

科 目	本年度				前年度	増 減
	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	合計	合計	
燃料費			0	0	0	0
光熱水料費			9,540	9,540	16,380	△ 6,840
賃借料			16,260	16,260	16,260	0
保険料			44,000	44,000	44,000	0
租税公課			0	0	0	0
支払負担金			271,000	271,000	393,000	△ 122,000
支払手数料			24,000	24,000	2,000	22,000
支払利息			0	0	16,500	△ 16,500
委託費			16,500	16,500	19,200	△ 2,700
雑費			50,000	50,000	50,000	0
経常費用計	63,479,237	9,296,983	1,310,450	74,086,670	71,273,000	2,813,670
評価損益等調整前当期 経常増減額	△ 8,190,737	9,581,017	△ 1,056,450	333,830	1,817,000	△ 1,483,170
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 8,190,737	9,581,017	△ 1,056,450	333,830	1,817,000	△ 1,483,170
2. 経常外増減の部						0
(1) 経常外収益						0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	4,790,508	△ 4,790,508	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,400,229	4,790,509	△ 1,056,450	333,830	1,817,000	△ 1,483,170
一般正味財産期首残高	55,773,035	20,453,442	5,583,906	81,810,383	69,890,539	11,919,844
一般正味財産期末残高	52,372,806	25,243,951	4,527,456	82,144,213	71,707,539	10,436,674
II 指定正味財産増減の部						0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	2,204,066	0	30,000,000	32,204,066	32,588,806	△ 384,740
指定正味財産期末残高	2,204,066	0	30,000,000	32,204,066	32,588,806	△ 384,740
III 正味財産期末残高	54,576,872	25,243,951	34,527,456	114,348,279	104,296,345	10,051,934